

◎予約枠を見直し、以前よりお申込みしやすくなりました

嚥下フレイルコース

嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査はすでに耳鼻咽喉科外来で実施されています。

初期評価

- ・体成分分析(INBody):お身体の水分量・筋肉量をはかる検査です。
- ・リハビリテーション科:言語聴覚士が嚥下機能や嚥下に関する身体や呼吸の力を評価します。評価結果に応じたトレーニングをご指導します。
- ・外来栄養指導:管理栄養士による食事指導があります。食事量が減ると体力低下・飲み込む力の低下により嚥下障害へとつながってしまいます。

この間、ご自身でトレーニングを実施・栄養指導内容を実施して頂きます！



リハ科:中間評価

自宅での訓練実施の様子を伺い、訓練の復習やアドバイスをを行います。

初期評価から1か月後

この間、ご自身でトレーニングを実施・栄養指導内容を実施して頂きます！



終了時評価

初期評価から3か月後

- ・嚥下造影検査・体成分分析(INBody):初期評価時からどの程度改善されているか検査をします。
- ・外来栄養指導:食事内容や食事量の変化を確認し、提案をします。
- ・リハビリテーション科:初期評価からの変化を評価し、今後の提案をします。
- ・耳鼻咽喉科診察:嚥下内視鏡検査を再度実施します。
他部門の報告もみて総合的にご説明を行います。
ご希望があればかかりつけ医(情報提供)もお渡しします。



フレイルとは？

フレイルとは健康な状態から要介護状態の中間段階の状態であり、主に加齢を起因とします。
生活の質や健康に影響を与える可能性があるため嚥下障害になる前にリハビリを行うことが大切です。

